

▼担当
院内、東院内
▼出身地
愛知県

たなかかつのり
田中克典さん



地域の方々と林道整備



初めての手植えで泥だらけ

こんにちは 地域おこし協力隊です

問合せ／まちづくり推進課 コミュニティ係（☎ 27-8237）

このコーナーでは各地域の課題解決や情報発信などまちづくりを支援する地域おこし協力隊員をご紹介します。



6月から協力隊に着任しました。以前は名古屋市で13年間、輸送機械の設計や検査、技術開発などをやってきました。

宇佐市は都市部とは異

なり、満員電車に揺られることもなく、海と山と川もあり、広大な田んぼや畑などの景色を楽しむことができます。他にも歴史や温泉もあり、川の音とともに山からの風を感じながら、気軽に温泉に行ける自由な暮らしを満喫しています。

現在は、院内地域の環

境整備や田植えなどを手伝い、地域を支える活動やイベントの企画・運営など地域の魅力を発信する活動にも力を入れています。

前職で培った機械や運輸業に関する知識を、再生可能エネルギーや自動運転などの分野に活用できたらと考えています。今後も、院内をもっと明るい未来につなげていけるように取り組んでいきたいと思います。



多文化共生ひろば

問合せ 秘書広報課 多文化共生・交流係
(☎ 27-8240)

このコーナーでは、宇佐市の外国人住民や支援者、市の取り組みなどについてご紹介します。みんなが暮らしやすい多文化共生社会を作るためにまずは知ることから始めませんか。

みなさん一番大事なものはなんですか？私は、まずお金が大事だと思います。お金がなければ何もできません。それから、恋愛も大事です。やきもちを焼くことや喧嘩けんかをすることもありますが、私に生きている喜びをくれます。それに、家族も大事です。私を誰よりも愛し育ててくれました。何があっても信じ合え、許し合える特別な存在です。最後に、健康も大事です。健康だと、将来のことを考えることができます。この4つは、私には全て大事なものです。いくらお金持ちでも病気になると「健康な体をください」と思うでしょう。一人ぼっちの人は家族が欲しいと思うでしょう。

今の私は、お金はありませんが、健康であり、ベトナムには大事な家族がいます。そして、恋愛もしています。私は、今あるものを大切にしようと思います。



名前 チャン ヴァン ロンさん 国籍 ベトナム
住所 森山 職場 大関食品(株)

お便りをくれた方

地租改正と宇佐の西南戦争 その2

宇佐市長 是永修治

明治10年、西郷隆盛を盟主とする士族の反乱、西南戦争が始まると、各地で呼応する動きができます。同年3月31日、中津士族の増田宋太郎は同志とともに

中津隊を名乗って蜂起します。宋太郎の母は、九州国学三大家の一人である渡辺重名の娘で、福沢諭吉とは従兄弟にあたります。

尊皇攘夷派だった宋太郎は、諭吉の帰郷した際を狙つて暗殺しようと企てます。しかし、逆に諭吉に諭され慶應義塾で学ぶと、地元に帰り田舎新聞を発行するなど、新政府を批判する立場で活動していました。

中津隊60人は宇佐、大分を経由し、熊本の田原坂で奮闘する西郷軍への合流を目指します。政府役人や区長らを《人民を苦しめ、無用の民費を増し、私欲を図る輩》と檄文で糾弾しながら



増田宋太郎

で区長らともめていた敷田村や赤尾村の農民たちは檄文が届くと竹槍やムシロ旗を掲げて暴徒化、学校、区長宅などを壊し金品を奪います。この動きは大根川、下庄、高家、森山、乙女、四日市、辛島、上田、法鏡寺、院内にも飛び火。また、中津隊の一員である橋津出身の松本大五郎は本隊とは別に柳ヶ浦、長洲、蟻木、松崎、豊後高田まで襲撃しました。続く。

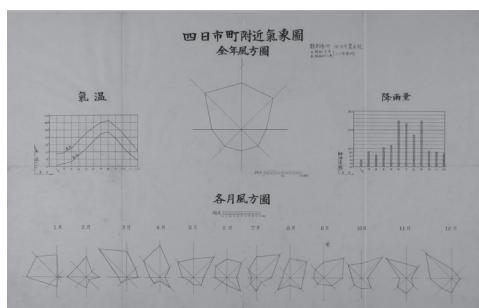
平和ミュージアム（仮称）開館に向けて
kioku wo tsunagu

記憶をつなぐ

このコーナーでは、戦後75年以上経って体験者の声が薄れゆく中、戦争の実像を伝えるためにこれまで収集した資料や今に残る戦争遺構にまつわる「記憶」を紹介していきます。

53 四日市町付近気象図 全年風向図

宇佐海軍航空隊建設に向けて作成された気象調査の結果を示す図面です。昭和10年から3年にわたり、四日市農学校（現・宇佐産業科学高校）で観測された気温と降水量や風向の平均値が示されています。1年を通して北西または北東からの風が安定的に吹いており、宇佐が飛行場として適切な立地であると判断された理由の一つと思われます。



■ 戦争関連資料を収集しています。提供していただける方は社会教育課 文化財係（☎ 27-8199）にご連絡ください。資料は平和の尊さを学ぶために活用いたします。

問合せ 社会教育課 平和ミュージアム建設準備室（☎ 27-8200）